

## 第3回 全国ヘリテージマネージャー大会

テーマ

### ヘリテージマネージャー (HM) と職人との連携による 伝統建築の保全と文化の継承

担当■全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会



全国ヘリテージマネージャー大会イメージ

金沢職人大学校にみられるように、加賀では技の匠を磨き伝統建築の保全に尽くしてきました。能登では輪島塗など伝統工芸はじめ、地域文化が深く根付いてきました。一方で、突然襲ってきた地震により伝統建築が大きな被害を受けましたが、建築士と職人が協力して修復・保全に対処してきました。

開催地である石川県の取り組み・活動に学び、伝統建築文化をいかに保全し継承していくか、ヘリテージマネージャーの役割、職人との連携について議論します。

日時…10月30日(金)、10:00～12:00

会場…石川県立音楽堂 地下1階 交流ホール

定員…200名

参加申込みは、p.28の申込書をご利用  
願います。

## 情報交流セッション

テーマ

### 未来につなぐBIM ～学生、教育者、実務者、行政 それぞれの立場から～

担当■情報・広報委員会 情報部会



情報交流セッションイメージ

コンピューターで仮想の3次元建物モデルをつくりながら設計を進める手法であるBIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)。欧米では7割を超える建築士が活用しているとも言われ、日本でも大手のゼネコンや組織設計事務所を中心に2009年頃から普及が始まりました。

日本建築士会連合会では平成26年度に全国12カ所でBIMセミナーを開催し、ユーザーである会員建築士が講師となって活用事例を紹介しています。しほね大会、ふくしま大会で

開催したBIMフォーラムにはそれぞれ180名近い参加者があり、建築士会内外でも徐々にBIM活用の動きが始まっています。

近年の問題として、大学や専門学校など教育分野ではすでにBIMへの対応が進んでいるにもかかわらず、実務者が2次元のままというギャップが生じています。時代が変化していくなかで、若者が就職してとまどい、BIMのスキルが評価されないといったことが現実起きています。

未来を担う学生や若い建築技術者、受け入

れる実務者にとってBIMがもたらす効果を、それぞれの立場で考える場を提供したいと思います。

日時…10月30日(金)、10:00～12:00

会場…ANAクラウンプラザホテル金沢 3階

定員…100名(要申込み)

参加申込みは、p.28の申込書をご利用  
願います。